



奥尻島

OKUSHIRI ISLAND

おだやかで、あざやか。 心満ちる島の時間。

フェリーなら江差町から約2時間、飛行機なら函館から30分。北海道本島(渡島半島)から、約20kmの西方沖に浮かぶ奥尻島。森と海の自然がおりなす風景と、豊かな食、そして島ならではの文化を紡ぎ、暮らす人々。ここまで足をのばせば、心ときめく特別な景色に出会えます。たとえばそれは、水深25mの透明度を誇る海。通称・奥尻ブルーと呼ばれるこの海を舞台に、マリレジャーで遊びつくすのはいかがでしょう。また、同じ海でも、日本海の荒波によって削られた奇岩が見せるのは、自然の厳しさと猛々しさ。さらに、それらを紅く染めながら沈みゆく夕陽と、北海道本島から上る朝日は一見の価値ある情景です。離島ならではの自然と人のエネルギーに満たされて、きっと離れがなくなる。リピート確実の癒しスポットです。



サイクリング、Eバイク

五感と身体をフルに使って島を巡るサイクリング、Eバイクで気楽に一周(65.6km)もできる。島内でのレンタルできるほか、フェリー・飛行機での持込みも可。

- ☎ 01397-2-3456 (奥尻島観光協会)
- 「ひやま・奥尻サークルズ」で検索

自然豊かな奥尻島は、山頂や高台から望む景色も格別。展望台や岬に立つ神社からは、海と山々がおりなす開放感抜群の絶景が楽しめます。また、島の総面積(142.99km²)の70%を山林が占めることにより、その起伏を体感しながら自転車で島を巡る楽しみも。そして、こうした自然の美しさと共に、自然の甚大な力がもたらした震災の記録も、どうぞご覧ください。



語り継ぐ、震災と復興の歴史。

平成5年の北海道南西沖地震で、津波により甚大な被害を受けた島の惨状を記し、語り継ぐ奥尻島津波館。

- ☎ 奥尻郡奥尻町青田36 ☎ 01397-3-1811

観る、ふれる、知る。



球島山展望台

約90段の階段を上った先に、島中央から北側一帯の大パノラマが現れる絶好のポイント。標高369.3mで自動車もOK、夜は漁火と満天の星空。

- ☎ 奥尻郡奥尻町球島



奥尻ワイナリー

震災からの復興の一環として、島内の雇用確保と地域振興のためにスタートしたワインづくり。前日までの電話予約で工場見学ができ、工場限定ワインの購入や試飲が楽しめる。

- ☎ 奥尻郡奥尻町清沢300 ☎ 01397-3-1414

奥尻島

OKUSHIRI ISLAND

感覚が冴え渡る、島の非日常体験。

おすすめ！島の過ごし方をご紹介します

島唯一のネイチャーガイドで、ゲストハウスも営む外崎雄斗さん。島の魅力を知り尽くし、年間500人以上の旅人をアテンドする奥尻旅のプロが、島での過ごし方をご案内します。



百箇といった、海に傾いている方も「あえて」お連れする奥尻の海。皆さんの知る海とは一味も二味も違う絶景に、大いに興奮していただきます。

SUP・カヤック

抜群の透明度で誰もが驚く「奥尻ブルー」。この海をSUPやシーカヤックで巡る西海岸冒険ツアーは、究極の非日常をとことん味わえる特別な時間。期間は6月～9月、時間は150分、60分の2コースと、60分のサンセットコース(9月限定)がある。90%以上が初心者なのでご安心を。



ゲストハウス「imacoco」代表 外崎 雄斗さん

島が誇る沢山の海の幸を支えるのは、山林の6割を占めるブナ林。ね、奥深いでしょ？



ブナ林ガイドツアー

大部分が深い森に覆われている奥尻島は「ブナの浮島」と呼ばれるほどブナが豊富。ツアーで見られるのは、早朝のブナ林がみせる光と影の静謐な光景。ハンモックや湯き水で淹れる珈琲もお楽しみに。静寂の中、感覚が冴え渡る。実施期間は3～10月中旬。

テントサウナ

砂浜のサウナは、ビーチのロケーションを存分に堪能できる贅沢体験。アロマの蒸気で汗をかいたら、目の前の奥尻ブルーへダイブ。実施期間は4～6月、9～10月。

水風呂の代わりに入る海では、潜ってよし、浮いてよし、フリースタイルでご自由に。

奥尻島の夜遊び

奥尻島は「夜遊び」も自然が舞台。漆黒の間、満天の星空、月明かり、そして静寂。ここには、街では見ることのできない「本当の夜」がある。鑑賞場所は、ガイドが探し出した秘密のポイント。季節・天候によって、夜の磯遊び、真夜中のブナ林ツアー、焚火なども楽しめる。実施期間は4～10月の新月前後5日間。星空をバックに撮影した写真データのプレゼントもあり。

ポイントまではアイマスクで光を遮断し暗の準備も万全に。恐怖と感動が待っています。



◎ここまで紹介したコースの詳細は「ゲストハウスimacoco」までお問合せください。
 ☎ 奥尻郡奥尻町浜浜100 ☎ 080-3237-8988

深海松でお土産作り



漁の際に網にかかる深海松は古くから漁師の間で縁起物とされ、これを求め続ける「難島仙人」もいます。

深海松(紅色サンゴ)加工体験

「深海松」とは奥尻沖で水揚げされる紅色珊瑚のこと。これをアクセサリーなどに加工して、世界にひとつだけのお土産作りを、屋外に出られない雨天時にもどうぞ。

☎ 奥尻郡奥尻町字奥尻19-8
 ☎ 090-2874-9484(難島仙人)



稲穂ふれあい研修センター (奥尻町歴史民俗資料展示室)

奥尻島北端の廃校となった小学校を改装した施設。出土した土器や石器のほか、古民具などを展示。勾玉作りなども気軽に体験できる。5～10月の毎週木・土曜日開館。

☎ 奥尻郡奥尻町稲穂162
 ☎ 開館時：01397-2-2201 (稲穂ふれあい研修センター)
 閉館時：01397-2-3890 (奥尻町教育委員会)

他にもこんな体験メニューが



震災ミニ講演

奥尻は震災・復興をとげた島。津波語り部隊員のオーナーが当時の震災体験を話してくれる。室内講演(民宿木村さん家で開催)

☎ 奥尻郡奥尻町球浦143
 ☎ 01397-2-2552(民宿木村さん家)



ベテラン船長による船釣り体験

ベテラン船長と一緒に沖に出て釣りが体験できる。季節によって釣れる魚が変わるので何度でも楽しめる。

☎ 奥尻郡奥尻町米岡1-9
 ☎ 090-1644-4030



ウニむき身体験

奥尻島といえばウニ！鮮度抜群のウニの殻むき体験。むいたウニはその場で食べられる。(7月中旬～8月上旬)青苗共栄部会(予約先:奥尻島観光協会)

☎ 奥尻郡奥尻町字青苗242
 ☎ 01397-2-3456(奥尻島観光協会)



檜山の歴史・文化

和人による北海道史の発祥の地 (上ノ国町)

檜山海岸の南端に位置する上ノ国町は、和人による北海道開発の礎となった場所。12世紀に源頼朝の奥州征伐から逃れた藤原泰衡一族や流罪人が渡ったことに始まるといわれ、「館(たて)」と呼ばれる城館にこもって支配地域の拡大を計った。「檜山館」は1457年に松前藩祖の武田信広が北方貿易の拠点としてこの地に築いたもの。他にも、北海道で最古の寺「上国寺(国指定重要文化財)」や、最古の民家「旧笹波家住宅(国重要文化財)」など多数の歴史遺産がある。



檜山館跡から見下ろす上ノ国町



旧笹波家住宅

上国寺本堂

江差の五月は江戸にもない ~北海道文化発祥の地~ (江差町)

江戸時代、江差町や乙部町ではニシン漁が盛んだった。獲ったニシンは食用や肥料などに加工され、それらを求めてたくさんの方々が船でまわってきた。ニシンを本州に運んだ北前船は、その反対に、食料品や調度品、文化や人、技術など、あらゆるものを江差に運び入れる。軽々と訪れる船と商売人、それに伴って賑やかになるまち。やがてそれは「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどに繁栄する。祭りや江差追分といった文化も、この北前船が運んできたもの。



春、ニシンの群衆が訪れたかもめ島の蔵島神社(2023年2月撮影)



いにしえ街道

語り継がれる義経伝説 (乙部町)

その昔、九郎半宮義経が兄頼朝の追討を逃れ、乙部に蝦夷地で最初の足跡を残した。乙部には地名としてその逸話が刻まれている。乙部岳は義経の別名九郎半官から九郎岳、静御前を思いつつも越えなければならなかった峠は矩待峠と呼ばれている。また義経を追って乙部にたどり着いた静御前だが、義経はすでに川を上り乙部岳を越え、2人は会うことが出来なかった。悲嘆にくれた静御前は、義経が上った川に身を投げてしまった。そしてこの川を姫川と呼ぶようになったのである。



静御前が身を投じたといわれる姫川



文化

メイクイン発祥の地 (厚沢部町)

中世の春の祭り(メーデー)に選ばれる女王にちなんだ名前の由来をもつ、英国生まれのジャガイモ「メイクイン」。北海道で初めて栽培されたのは厚沢部の地だった。明治43年に檜山農事試験場で栽培への取り組みが始まり、良品種の普及や栽培技術の向上に努め、今では町産一の特産物としてその名を知られている。令和4年、毎年夏に開催されるあっさぶふるさと夏まつりで、あっさぶメイクインを使ったジャンボコロッケでギネス世界記録®を達成している。



あっさぶふるさと夏まつり



あっさぶメイクイン

ジャンボコロッケ調理の様子

日本初の女医・荻野吟子ゆかりの地 (今金町・せたな町)

日本における最初の女性医師である荻野吟子は嘉永4年に埼玉県で生まれ、16歳で結婚するが、夫からうつされた性病にかかり入院。その際女医の必要性を痛感し、自身が女医となる決意をする。結婚後本格的に学問を始め、明治18年、34歳の時、女性として初めて医師開業試験に合格。その後に教師の志方之善と結婚し、明治27年、北海道に渡り現在のせたな町で開業。今金町には吟子ゆかりの教会と歌碑があり、日本人初の女医・荻野吟子のロマンが息づいている。



荻野吟子公園顕彰碑



インマヌエル教会

震災と復興の歴史 (奥尻町)

奥尻島は平成5年7月12日、北海道南西沖地震の地震・津波より死者198名の犠牲者と壊滅的な被害を受け、人口4,500名の町は絶望の危機にさらされた。しかし全国から寄せられた温かい支援により震災からわずか5年で完全復興宣言。地震・津波防災対策により災害に強い町に蘇り、そこで暮らす高民は地震・津波から命を守る術を後世に語り継いでいる。また、この防災意識をより広く後世に伝える防災推進プロジェクトを全国に発信して教育旅行の受け入れも積極的に行っている。



慰霊碑・時空想 登景



時空想に沈む夕陽▶

7つのまち 町名の由来

【檜山】

由来となったヒノキアサノロは、軽くて柔らかく加工がしやすい上、十分な強度と耐久性を持ち良質な木材として幅広く活用された。

【江差町】

「昆布が採れる場所」「碑が突き出ている場所」などを表すアイヌ語に由来すると推測されるが諸説あり。町木はヒノキアサノロ。

【上ノ国町】

15世紀頃、南部の日本海側を上ノ国、太平洋側を下ノ国と称し、交易の拠点として、檜山館を構えたこの地に上ノ国の名が残った。

【厚沢部町】

アイヌ語の「アツ・サム(楡皮・干す処)」「ハチヤム・ベツ(桜島・川)」など由来は諸説あり。良質なヒノキアサノロが採れたまち。

【乙部町】

アイヌ語「オト・ウン・ベニ川口に居る川」が転じたもの。対象となった川は「姫川」とも名づけられ、まちを流れる。

【奥尻町】

アイヌ語の「イクシヨシ・シリ」から「イク(向こう)・シリ(島)」と置いたものを由来とする。意味は「向こうの島」。

【今金町】

明治26年に入植し、開拓の先陣をきった今村修次郎と金森石郎、この二人の姓を一字ずつもらって、昭和22年に「今金町」に。

【せたな町】

平成17年の町村合併の際に公募によって名付けられたもの。せたなの語源はアイヌ語の「セタルシユベナイ(大の川)」にある。

ひやまの 北海道遺産



- 今金・美利河の金山遺跡
- 上ノ国の中世の館
- 江差追分
- 五稜郭と箱館戦争の遺構
- 姥神大神宮波御祭 ▶

3ページに
詳細掲載

北海道遺産とは、北海道が有する有形・無形の財産の中から、次世代への継承を目指し、同時に、地域の中での活用などを目的につくられたもの。令和5年3月現在、全道で74件が選定されており、檜山の歴史・文化に関するものは5件あります。

北海道
遺産

今金・美利河の 金山遺跡

● 江戸時代前期～
昭和期(今金町)

最新! 2022年10月の第4回で選定



カニカン岳金山跡鉱山臼



昭和期の砂金掘り用具一式

美利河の金山遺跡

今金町・美利河(びりか)の金山遺跡の歴史は、古くは江戸時代前期(1630年代～1660年代)にさかのぼる。松前藩は蝦夷地の金山開発を奨励し、この後志利別川上流域にも砂金探査の痕跡が数多く残されている。当時の掘り方は水気のない台地上に水路を引き、土砂を掘こそき洗い流すという大掛かりなもので、これが流域沿いに10km以上点在する様子は、大ゴールドラッシュの発生を物語る。その後、明治20年代にも再興し、ここで腕を磨いた者が道内各地の金山で活躍したという。本地域は砂金掘りの技術を磨く場として歴史上重要な位置を占めた。砂金採掘はその後昭和30年代まで続き、当時の採掘用具も残されている。

「学芸員が教える注目ポイント」

後志利別川はアイヌ語に由来し、「縄川」や「蛇川」と、曲がりくねる河川の特徴が表されています。固い岩盤に穿られ、大きく流路を変える部分には土砂がたまりやすく、砂金を採取するには最適な地形とされています。特に美利河ダム周辺は複数の支流の合流部に当たり、江戸前期以来、砂金採掘が最も盛んな中心地でした。ここは採掘跡も良く残っていますので、誰でも見学できるよう現在環境整備を進めています。

● 今金町教育委員会 / 宮本 雅道



上空から撮影した勝山館跡



勝山館の証と客殿跡



発掘調査中の勝山館跡



勝山館跡復元模型



見つかったアイヌ人の墓

北海道
遺産

上ノ国の中世の館 勝山館跡

● 15世紀後半(上ノ国町)

真王山の東麓にある、日本海北方交易や中世の生活様式など「北の中世」を語る重要な史跡。松前氏の祖・武田信濃が15世紀後半に築き、その後約1世紀に渡って、武田・蠣崎氏の政治・交易・軍事の一大拠点となった。現在、館跡では櫓や橋、空堀などの立体復元などが進み、当時の生活や館の構造を身近にしながら散策ができる。また、ガイダンス施設では勝山館跡の200分の1の模型をガラス越しに現地と重ねて観察できるほか、発掘結果をもとに、CGで復元した勝山館のリアルな姿を見ることが出来る。

「学芸員が教える注目ポイント」

館跡から当時アイヌの人々が使っていた骨角器が多数出土し、このことからこの地に和人とアイヌ人とが混住していたことがわかりました。両者の墓が隣り合う形で発掘されたことも大きな裏付けで、関係性は良好だったのでは、と考えられます。異なる文化を持った和人とアイヌ人が同じ山城にいた事実は大きな発見で、非常に珍しいものと言えます。

● 上ノ国町教育委員会 / 塚田直哉



もっととディープに。 ひやまの夜旅。



昼とは違う、まちの顔。
個性あふれる酒場で旅に深みを。
一期一会の思い出を。

ネオンを辿って夜のまちに繰り出すのも旅の醍醐味。地元のお客や名物マスター・ママに出会い、観光地とは異なる、さまざまなまちの表情に触れることができる。たとえば江差町の新地町エリア。

ここは江戸時代の花街文化を起源にする江差町の繁華街。北洋漁業が活況だった昭和の時代までは飲食店が軒を連ね、クラブにキャバレー、スナック、バーのネオンが煌々と通りを彩っていた。現在その数は往時の1/3ほどだが、個性あふれる店がそろい、夜ごと地元客で賑わっている。ぜひ旅のスケジュールには「ひやまの夜」も組み込んで、ひやま旅をディープに楽しんでほしい。



ネオン街の生き字引 ①

江差町の歴史・文化を深く愛し、多くの書籍を出版。「まちの生き字引」とも言われる松村隆さん。酒場もこよなく愛し、約60年、飲み歩きを楽しむ。



ネオン街の生き字引 ②

新地町の老舗「パブ ボナベティ」のマスター岩井静恵さん。鎌倉や東京で経験を積み、江差町で開店して約40年。ナポリタンが名物の人気店。



「北洋漁業」とは

ベーリング海、オホーツク海を含む北太平洋で行われる漁業で、明治時代から出漁が活発化、戦中・戦後に途絶えるが昭和20年代に復活。出漁地には母船と船独航の各船団が大挙し、船乗りが1週間ほど滞在するため繁華街は大いに賑わい、また、船に積み込む食料や日用品もそこで調達するため、各街の経済に大きく貢献していた。漁で獲るのは主にサケ・マス。昭和50年代以降、衰退する。



第1回江差追分全国大会の様子



追分道場のある江差追分協会



江差追分協会内、唄の基本譜

「守り教え、歌い継ぐ人」

8歳から江差追分をはじめ、プロの歌手として活躍する木村香澄さん。中学時代には元YMO・細野晴臣のアルバムで、高校時代には宇崎竜童作曲の組曲で江差追分を唄った経験も持つ。なお、全国大会優勝は高校2年生のとき。江差町では歌手活動の傍ら、自身のカフェ内に江差追分支部「紫雲会」を立ち上げ、同会の師匠の一人として指導にあたる。

●歌手・江差追分師匠／木村香澄



北海道遺産⑤ 江差追分

●江戸時代～現在(江差町)

歌ある民謡の中で、最も難しく憧憬的であり「民謡の王様」とも呼ばれる江差追分。この唄は、江戸時代、北前船がもたらした信州の馬子唄と江差の風土が混ざり合ってできたもの。いま、その人気は世界に及び、江差追分協会は海外にも支部を持つ。



開関丸記念館(江差町)



館城跡(厚沢部町)



官軍上陸の地碑(乙部町)

北海道遺産⑥ 五稜郭と箱館戦争の遺構

●明治元年(函館市・江差町・厚沢部町・乙部町・上ノ国町)

1868(明治元)年、豊ノ木(現在の森町)に上陸した榎本武揚ら旧幕府軍は、五稜郭で蝦夷地領有を宣言するも新政府軍の反撃に屈す。南北海道は、旧幕府軍と新政府軍による戊辰戦争の最終決戦地。各町ゆかりの地には激しい戦いの痕跡が残されている場所もあり、今も静かに戦場の記憶を伝えている。

●厚沢部町教育委員会／高塚 龍

「学芸員が教える注目ポイント」

松前藩が明治元年に松前城に代わる藩の拠点として新たに築城した「館城」。明治元年の冬に完成を迎えますが、その直前に始まった箱館戦争に巻き込まれ完成から約ひと月で燃やされ落城。火をうけた痕跡のある礎石から、時代の節目に翻弄された城の悲壮が感じられます。現在館城跡は桜の名所となっています。

乙部町域には大きなポイントが2つ。それは「始まりの終わり」と「終わりの始まり」の地であること。前者は榎本軍が攻め寄せ、松前軍が最後に降伏したのが乙部町域であること。後者は反撃に出た官軍が、逆襲上陸の地に乙部村(現乙部町元町)前浜を選んだこと。唯一「官軍上陸の地」の碑が建てられています。

●乙部町教育委員会／藤田 巧

檜山の温泉

檜山地方は7町すべてが温泉を有する「温泉天国」。どの町の温泉も個性的で、地元住民のいごいの場となっているものや、山奥にある秘湯、離島に湧くものなどバラエティ豊か。その中から、地元の日常を共有できる「日帰り温泉」をピックアップ。旅の醍醐味と癒し、ようこそ温泉天国へ。



上ノ国町

湯ノ岱温泉郷 国民温泉保養センター

清流・天の川のほとりに位置する温泉。泉質は炭酸泉、じっくりと長湯ができる35度、38度の低湯湯と42度の高温湯、そしてうたせ湯がある。床や浴槽が紅く染まるのは鉄分を多く含む証で飲用も可。館内の食堂も人気。



- 〒 檜山郡上ノ国町字湯ノ岱517-5
- ☎ 0139-56-3147
- 🕒 10:00～20:00
(受付19:30迄)
- 🏠 第1・3月曜休(祝日の場合翌営業日)、年末年始休

おとべ温泉 いこいの湯

源泉100%の天然温泉。露天はもちろん、大浴場も明るく開放的。館内ギャラリーや浴場内には、地元出身の作家等による彫刻や絵画、壁画などが飾られ、個性的。泉質はナトリウム・硫酸塩・塩化物泉。

- 〒 檜山郡乙部町字館湯527-2
- ☎ 0139-62-3264
- 🕒 11:00～21:00
- 🏠 月曜休



乙部町



せたな町

あわび山荘併設 貝取洞公営温泉浴場

源泉100%のかけ流しの湯は鉄分を多く含むアルカリ性。岩造りの内湯や露天風呂の縁に堆積した温泉成分が泉質の良さを表す。また、宿泊施設は温泉熱を利用して養殖されたアワビが名物で、お造りや天ぷらなど様々な料理も評判。



- 〒 久遠郡せたな町大成区
貝取洞388
- ☎ 01398-4-5522
- 🕒 9:00～21:00
(冬期～20:00)
- 🏠 無休

ピリカ温泉 クアブラザピリカ

大浴場には、ジャグジーやサウナ、水風呂などを備え、露天風呂は青空と木立の景色が爽やか。よく湯まり湯冷めしにくいと評判の湯はナトリウム・カルシウムを含む塩化物泉。清潔感のある浴場で開放感たっぷりの湯浴みができる。

- 〒 檜山郡今金町字美利河205-1
- ☎ 0137-83-7111
- 🕒 12:00～22:00
- 🏠 無休



今金町



厚沢部町

上里温泉 上里ふれあい交流センター

温泉は江戸時代からの歴史を誇る「イヤシナイの湯」で、源泉からお湯を引き込み加熱している。サウナやバブルバス、露天風呂を備え、開放感が人気。施設内はバリアフリーで、地元客の憩いの場。旅人も気軽に町の日常を味わえる。



- 〒 檜山郡厚沢部町上里92
- ☎ 0139-64-3048
- 🕒 13:00～20:00
- 🏠 月曜休

繁次郎温泉

約39度の低湯湯から約46度の源泉かけ流しまで、5種類の浴槽を備える。泉質は、血行や自立神経の改善などが期待できる炭酸泉。フィンランド式サウナやひのきの露天風呂も備える。食堂ではエビあんかけ焼きそばが人気。

- 〒 檜山郡江差町字田沢町82-7
- ☎ 0139-54-5454
- 🕒 17:00～21:00
(土日祝12:00～)
- 🏠 無休



江差町



奥尻町

神威脇温泉保養所

源泉かけ流しの天然温泉で、1階浴室には黄褐色に濁った鉄分豊富な湯がなみなみと湧ちる。2階浴室は温度低めの炭酸風呂になっており、奥尻島のオーシャンビューを望みながら、ゆっくりと長風呂ができる。知る人ぞ知る、離島の秘湯。



- 〒 奥尻郡奥尻町湯沢98
- ☎ 01397-3-1130
- 🕒 10:30～20:30
- 🏠 年末年始休

檜山の食

日本海が育む上質な海の幸、清流が注ぐ大地が育む山の幸。自然条件に恵まれ、その環境の中で生産者がさらに切磋琢磨する。多彩な食の宝庫でもある檜山エリアでは、今日もたくさんの“おいしい”が育っています。自慢の食材とそれを提供する地元のお店が、皆さまをお待ちしています。

*季節限定メニューや臨時休業の場合がありますので、来店前にお問い合わせください。



キタムラサキウニ

ウニ丼(7月下旬～8月上旬限定)
叶(きょう)寿司(奥尻町)
☎ 0139-72-3340



特製ウニクリームパスタ
(7月下旬～8月上旬限定)
bella vista(奥尻町)
☎ 090-2870-3369



ニシン

にしんそば
手打ちそば和味
(江差町)
☎ 0139-52-1211



ヒラメ
(てっくい)

お刺身定食(4～11月限定)
レストラン元和台(乙部町)
☎ 0139-62-3128

てっくい天丼
道の駅上ノ国もんじゅ(上ノ国町)
☎ 0139-55-3955



岩のり

せたなのおにぎり
レストランVie(せたな町)
☎ 0137-84-8340

岩ガキ

岩ガキバーベキュー(6～8月限定)
ひやま産岩ガキ支所青年部直売所
「海館(かいかん)」(奥尻町)
☎ 0139-72-7855



紅ズワイガニ

江差産紅ずわいがに 浜ゆで
(3月中旬～8月中旬限定)
実宿泊・お食事のみは不可
江差旅館 料亭(江差町)
☎ 0139-52-2020



江差産カニコロケと
てっかい海老フライセット
レストランsalomi(江差町)
☎ 0139-52-5514



蛸夷
アワビ

あわびづくしの宿泊プラン
弁天寿司(上ノ国町)
☎ 0139-55-2341



アスバラ

厚沢部のアスバラのオープン焼きと
落部の有精卵のスクランブルエッグ
パルミジャーノのせ
(3～5月、7～9月限定)
イタリア風店番屋パレス(江差町)
☎ 0139-52-2696



えぞまいたけ

天ざる
手打ち蕎麦処 滝野庵(厚沢部町)
☎ 0139-67-2126

きのごベーコンパスタ
キッチンCAFEのどか(乙部町)
☎ 0139-62-2510



今金男しゃく

男爵コロッケ
八千よ(今金町)
☎ 0137-82-0359



今金男爵のオープン焼き
お食事処せんなり(今金町)
☎ 0137-82-0220



若松ポーク陶板焼定食
レストランまごまごない(せたな町)
☎ 0137-84-4120

あっさぶメーカーイン



若松
ポークマン

回鍋肉
中華レストラン紅天楼(ほうてんろう)
(せたな町)
☎ 0137-87-2684



フルーツポーク

フルーツポーク
チャーシュー丼
ラーメンめんそう上ノ国店
(上ノ国町)
☎ 0139-55-2229



インド風スパイスカレー
野菜カレー
カレーとコーヒーの店
カンパシーノ(厚沢部町)
☎ 0139-56-1089



ナマコ
(檜山海參)



クラフト
ビール

オトビアンエール、
檜山海參(ヒヤマハイシェン)ナマコ
入り Guild 特製あんかけ焼きそば
Guild Endeavour(乙部町)
☎ 0139-56-1300



ダムカレー

ピリカダムカレー
クアブラザピリカ
レストランPera(今金町)
☎ 0137-83-7111

さらに詳しく
知りたい方は

おいしい檜山
食さんぽガイド
[WEB版]





見逃せない逸品の数々 「ひやま」でショッピング

各町道の駅には、食材や六次産品など、檜山の“おいしい”を常時販売中。季節ごとに旬の野菜なども並びます。檜山が誇る自慢のおいしさをぜひお手元へ。道の駅・アンテナショップ等で販売しています。お土産にもどうぞ。

- HOTELいまかね「食の駅」——(今金町)
☎0137-82-3333
- 温泉ホテルきたひやま売店——(せたな町)
☎0137-84-4120
- 道の駅「てっくいらんど大成」——(せたな町)
☎01398-4-6561
- 道の駅「ルート229元和台」——(乙部町)
☎0139-62-3009
- 道の駅「あっさぶ」——(厚沢部町)
☎0139-64-3738
- 道の駅「江差」——(江差町)
☎0139-52-1177
- アンテナショップ「ふらっと江差」(江差町)
☎0139-52-1377
- 道の駅「上ノ国もんじゅ」——(上ノ国町)
☎0139-55-3955
- 奥尻港ターミナルじみやげ店——(奥尻町)
☎01397-2-3237



道の駅「大成」

道の駅「あっさぶ」

道の駅「上ノ国もんじゅ」



つぶの塩辛・めかぶとろちゃん

麹と昆布、青南蛮を使った青つぶの塩辛と、つぶつぶの触感が病みつきになるめかぶとろちゃん。

☎ 奥尻潜水部会 ☎ 01397-2-2851



上ノ国ワイナリー 上の泡・上の白

上ノ国町の豊かな自然の中で醸造された新しい日本ワイン。全国初のサテライトオフィスをもったワイナリーで試飲しながら購入できる。

☎ 上ノ国ワイナリー ☎ 0139-56-1260



五勝手屋羊羹

小豆ではなく金時豆を使った羊かんは老舗の味を今に伝える明治以来のロングセラー。

☎ 五勝手屋本舗 ☎ 0139-52-0022



いっぶくちゃん

あっさぶメーカーイン・レシピ・コンテストで最優秀作品を受賞したチーズケーキ。

☎ 道の駅あっさぶ ☎ 0139-64-3738



かもめ島 貝がらサブレ

町内の老舗菓子店と、アンテナショップ「ふらっと江差」でつくった、オリジナルクッキー。

☎ ふらっと江差 ☎ 0139-52-1377



村上牧場レブレラのチーズ

映画「そらのレストラン」のモデルにもなった酪農家の丹精込めたナチュラルチーズ。

☎ 村上牧場レブレラ ☎ 0137-87-2009



OTOBBEAN ALE

原材料に、乙部町のミネラルウォーターと大麦麦芽を一部使ったこだわりのクラフトビール。

☎ Guild Endeavour ☎ 0139-56-1300



カマンベールタイプ瀬棚 SETANA

牧場とチーズ工房両方で有機JAS認証取得。グラスフェッドミルクのチーズ。日々熟成が進み濃厚に

☎ CHEESEDOM オンラインストア ☎ <https://cheesedom.official.ec>



本格焼酎 喜多里

厚沢部町産のさつまいも(黄金千貫)やメーカーインを原料に作られた本格焼酎。

☎ 道の駅あっさぶ ☎ 0139-64-3738

純米吟醸 今金

今金町産の酒米「雙葉」という品種と後志利別川の伏流水を使用してできた日本酒。

☎ ホテルいまかね「食の駅」 ☎ 0137-82-3333



さらに詳しく知りたい方は

みなみ北海道 ひやま お買い物マップ



岩盤崩落による国道229号線一部通行止めのため迂回線(赤線)を通行してください。(2021年6月~当箇の間)



- 檜山エリアにはJRの路線も高速道路も通っていません。景色や道の駅などを楽しみながらのゆったりドライブがオススメです。
- 道路名を記載している経路はドライブルートを示しています。



道央自動車道	国道230号線	国道230号線	道央自動車道
[距離: 240km 時間: 約3時間]	国道IC	国道IC	[距離: 130km 時間: 約2時間]
JR	長万部	長万部	JR
[時間: 約2時間30分]	国道バス	国道バス	[時間: 約1時間30分]
道央自動車道	国道230号線	国道230号線	道央自動車道
[距離: 250km 時間: 約3時間30分]	国道IC	国道IC	[距離: 130km 時間: 約2時間5分]
JR	長万部	長万部	JR
[時間: 約2時間30分]	国道バス	国道バス	[時間: 約1時間30分]
道央自動車道	国道277号線	国道229号線	道央自動車道
[距離: 290km 時間: 約4時間]	八雲IC	熊石	道道935号線
JR	新函館北斗	熊石	厚沢部
[時間: 約3時間30分]	国道バス	国道バス	[距離: 70km 時間: 約1時間30分]
道央自動車道	国道277号線	国道229号線	道央自動車道
[距離: 300km 時間: 約4時間10分]	八雲IC	熊石	国道227号線
JR	新函館北斗	熊石	江差
[時間: 約3時間30分]	国道バス	国道バス	[約10分]
道央自動車道	国道230号線	国道229号線	道央自動車道
[距離: 360km 時間: 約7時間]	国道IC	熊石	道道227号線
航空路	江差港	熊石	厚沢部
[距離: 173km 時間: 約30分]	国道IC	熊石	江差
道央自動車道	国道277号線	熊石	道道227号線
[距離: 300km 時間: 約4時間30分]	八雲IC	熊石	厚沢部
JR	新函館北斗	熊石	江差
[時間: 約3時間30分]	国道バス	国道バス	[距離: 70km 時間: 約1時間30分]
道央自動車道	国道277号線	熊石	道道227号線
[距離: 310km 時間: 約4時間40分]	八雲IC	熊石	厚沢部
JR	新函館北斗	熊石	江差
[時間: 約3時間30分]	国道バス	国道バス	[約2時間15分]
道央自動車道	国道277号線	熊石	道道227号線
[距離: 310km 時間: 約4時間40分]	八雲IC	熊石	厚沢部
JR	新函館北斗	熊石	江差
[時間: 約3時間30分]	国道バス	国道バス	[距離: 80km 時間: 約1時間40分]
道央自動車道	国道277号線	熊石	道道227号線
[距離: 310km 時間: 約4時間40分]	八雲IC	熊石	厚沢部
JR	新函館北斗	熊石	江差
[時間: 約3時間30分]	国道バス	国道バス	[約15分]